



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 全研本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7371 URL <https://www.zenken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 順之亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鷲谷 将樹 (TEL) 03-3349-0451
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	3,632	△6.4	453	△65.0	457	△64.9	279	△68.0
2022年6月期第2四半期	3,881	—	1,295	—	1,304	—	872	—

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 285百万円(△67.1%) 2022年6月期第2四半期 868百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	23.23	21.78
2022年6月期第2四半期	73.51	67.81

(注) 2021年6月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	14,599	12,195	83.5
2022年6月期	15,288	12,147	79.5

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 12,195百万円 2022年6月期 12,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年6月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日を配当基準日とする配当予想額は未定であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,048	4.5	1,227	△47.6	1,262	△46.3	874	△44.8	73.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	12,031,500株	2022年6月期	11,982,700株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	一株	2022年6月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	12,020,097株	2022年6月期2Q	11,867,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2023年2月14日(火)にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けております。また、米国の金融引き締め政策の影響による円安や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、原材料費の高騰等による世界経済の減速懸念も国内景気や企業収益に影響を与えるものと考えられ、依然として先行きの見通しが不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、ITセグメント（コンテンツマーケティング事業、メディア事業、AI事業）と語学セグメント（法人向け語学研修事業、留学斡旋事業、日本語教育事業）を中心に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を一定程度受けておりますが、当社グループが持つ「IT」「語学」の各事業の強みを活かし、グローバル・インバウンド（日本国内における国際化）に向けた事業展開を推進してまいりました。なお、当第2四半期連結累計期間においては、海外介護人材事業に参入するため、全研ケア株式会社（当社の100%出資子会社）において、株式会社ヒノキヤレスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：上村 耕一）より有料老人ホーム運営事業等を2022年7月1日に譲受けております。

以上のような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,632,326千円と前年同四半期連結累計期間と比べ249,498千円（6.4%）の減収、営業利益は、453,766千円と前年同四半期連結累計期間と比べ841,328千円（65.0%）の減益、経常利益は457,388千円と前年同四半期連結累計期間と比べ846,820千円（64.9%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は279,229千円と前年同四半期連結累計期間と比べ593,122千円（68.0%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

a. ITセグメント

当セグメントの主力事業は、主にWEB検索市場におけるマーケティング戦略を通じ、クライアントに対する集客支援を展開する「コンテンツマーケティング事業」です。当該事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,787,670千円と前年同四半期連結累計期間と比べ48,421千円（2.8%）の増収となりました。当第2四半期連結累計期間においても、前連結会計年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受け、展示会等で集客を行っていたBtoB（電機・機械等）の業種のメディアの公開を中心に拡大しております。当四半期連結累計期間においては、夏場において受注が思わしくなかった影響もあり、129件のメディア公開となっております（前年同四半期連結累計期間比60件減）。また、運用メディア数につきましては、公開メディア数が伸び悩んだこともあり、1,234件となっております（前年同四半期連結累計期間比34件減）。運用メディアの平均継続期間については、40.3カ月となっております（前年同四半期連結累計期間比3.4カ月増）。BtoB（電機・機械等）の業種については、既存のメディアと比較して規模が大きくなるケースが多く、まだ専門メディアのない業種も多いため、引き続き市場開拓を進めております。一方で、前年同四半期連結累計期間と比べ、外注費等が179,981千円、人員の増強に伴う人件費が131,857千円等と費用も増加しております。

また、AI事業においては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、592,403千円と前年同四半期連結累計期間と比べ456,908千円（43.5%）の減収となりました。主な要因としては、子会社である株式会社サイードが開発した新型コロナウイルスワクチン接種専用予約管理システムに係る売上が340,543千円と前年同四半期連結累計期間と比べ488,384千円（58.9%）減少したことによります。さらに、前年同四半期連結累計期間と比べ、研究開発費93,255千円や販売費25,432千円等と費用も増加しております。

その結果、売上高は2,760,886千円と前年同四半期連結累計期間と比べ360,650千円（11.6%）の減収、セグメント利益は556,403千円と前年同四半期連結累計期間と比べ855,307千円（60.6%）の減益となりました。

b. 語学セグメント

当セグメントが属する語学教育業界においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を受けておりましたが、各国政府による渡航制限措置や入国制限措置の緩和などの影響により改善の兆しも見受けられます。当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期連結累計期間よりも多くの留学生を送り出すこ

とができたものの、今後については、急速に進む円安の影響について懸念しております。運営する日本語学校においては、2022年4月以降、ビジネスで通用する日本語の習得をすべく、海外から多くの学生が入学しており、大幅に在籍者数が増加しております。主力である、法人向け語学研修事業においては、入国された海外の方に向けた日本語研修が増加傾向にあるものの、引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況等に応じて、対面型の研修、オンライン型の研修を実施しております。

その結果、売上高は404,266千円と前年同四半期連結累計期間と比べ7,624千円（1.9%）の増収、セグメント利益は63,786千円と前年同四半期連結累計期間と比べ25,801千円（67.9%）の増益となりました。

c. 不動産セグメント

当セグメントにおきましては、「全研プラザ」、「Zenken Plaza II」の賃貸を中心に行っております。

その結果、売上高は231,492千円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,626千円（0.7%）の増収、セグメント利益は165,165千円と前年同四半期連結累計期間と比べ15,787千円（10.6%）の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産の残高は5,994,849千円（前連結会計年度末比807,431千円の減少）となりました。これは主に、法人税等の納税及び配当金の支払い等により現金及び預金が943,662千円減少したことによるものです。固定資産の残高は8,604,617千円（前連結会計年度末比118,821千円の増加）となりました。これは主に、株式会社ヒノキヤレスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：上村 耕一）より有料老人ホーム運営事業等の譲受けに伴い、建物及び構築物（純額）が75,462千円、リース資産（純額）が61,165千円増加したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、14,599,467千円（前連結会計年度末比688,609千円の減少）となりました。

（負債）

流動負債の残高は1,411,068千円（前連結会計年度末比731,120千円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等が617,778千円減少したことによるものです。固定負債の残高は992,945千円（前連結会計年度末比5,732千円の減少）となりました。これは主に、株式会社ヒノキヤレスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：上村 耕一）より有料老人ホーム運営事業等の譲受けに伴い、リース負債等が増加した影響で、固定負債のその他が68,511千円増加したことと、約定返済により長期借入金74,244千円減少したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、2,404,014千円（前連結会計年度末比736,853千円の減少）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、12,195,452千円（前連結会計年度末比48,243千円の増加）となりました。これは主として、配当金の支払いにより、利益剰余金が239,654千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を279,229千円計上したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ943,662千円減少し、5,127,870千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の支出は459,387千円となりました（前年同四半期は664,545千円の資金の獲得）。これは主として、税金等調整前四半期純利益459,533千円と前年同四半期の1,297,017千円から837,484千円減少し、法人税等の支払額768,700千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は115,496千円となりました（前年同四半期は2,029千円の資金の獲得）。これは主に、海外介護人材事業に参入するため、全研ケア株式会社（当社の100%出資子会社）において、有料老人ホーム運営事業等を譲り受けたことによる110,840千円の資金の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は368,778千円となりました（前年同四半期は204,773千円の資金の支出）。これは主に、配当金の支払い236,825千円、長期借入金の返済による支出74,244千円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想詳細につきましては、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は、2023年6月期も継続すると仮定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,071,533	5,127,870
売掛金	434,298	494,528
棚卸資産	56,768	105,310
その他	239,681	267,139
流動資産合計	6,802,281	5,994,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,798,109	2,908,406
減価償却累計額	△1,463,926	△1,498,760
建物及び構築物(純額)	1,334,182	1,409,645
工具、器具及び備品	63,969	67,628
減価償却累計額	△46,095	△49,343
工具、器具及び備品(純額)	17,873	18,285
土地	6,019,746	6,019,746
リース資産	46,841	90,412
減価償却累計額	△40,759	△23,164
リース資産(純額)	6,082	67,248
その他	20,666	20,666
減価償却累計額	△20,666	△20,666
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	7,377,885	7,514,925
無形固定資産		
借地権	602,194	602,194
その他	30,881	20,963
無形固定資産合計	633,075	623,157
投資その他の資産		
投資有価証券	82,943	92,481
繰延税金資産	138,941	109,269
敷金	183,375	185,043
その他	135,611	143,045
貸倒引当金	△66,037	△63,306
投資その他の資産合計	474,833	466,533
固定資産合計	8,485,795	8,604,617
資産合計	15,288,077	14,599,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	438,443	283,262
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	148,488	148,488
未払費用	69,618	115,947
前受金	592,907	628,613
未払法人税等	656,916	39,138
賞与引当金	79,312	70,332
その他	56,502	75,286
流動負債合計	2,142,189	1,411,068
固定負債		
長期借入金	702,536	628,292
長期預り敷金	289,526	289,526
その他	6,616	75,127
固定負債合計	998,678	992,945
負債合計	3,140,867	2,404,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,276	433,301
資本剰余金	616,246	617,271
利益剰余金	11,081,354	11,120,930
株主資本合計	12,129,878	12,171,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,331	23,949
その他の包括利益累計額合計	17,331	23,949
純資産合計	12,147,209	12,195,452
負債純資産合計	15,288,077	14,599,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,881,825	3,632,326
売上原価	1,328,028	1,680,693
売上総利益	2,553,796	1,951,633
販売費及び一般管理費	1,258,702	1,497,867
営業利益	1,295,094	453,766
営業外収益		
受取手数料	2,006	4,841
助成金収入	3,582	715
貸倒引当金戻入額	8,061	2,731
その他	431	609
営業外収益合計	14,082	8,897
営業外費用		
支払利息	2,245	1,863
為替差損	1,327	3,411
貸倒引当金繰入額	1,395	-
営業外費用合計	4,968	5,274
経常利益	1,304,209	457,388
特別利益		
負ののれん発生益	-	2,343
特別利益合計	-	2,343
特別損失		
固定資産除売却損	-	198
事業譲渡損	7,191	-
特別損失合計	7,191	198
税金等調整前四半期純利益	1,297,017	459,533
法人税、住民税及び事業税	451,029	153,553
法人税等調整額	△26,364	26,750
法人税等合計	424,665	180,304
四半期純利益	872,352	279,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	872,352	279,229

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	872,352	279,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,808	6,617
その他の包括利益合計	△3,808	6,617
四半期包括利益	868,544	285,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	868,544	285,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,297,017	459,533
減価償却費	63,407	55,620
事業譲渡損益(△は益)	7,191	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,666	△2,731
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,800	△8,980
受取利息及び受取配当金	△267	△292
支払利息	2,245	1,863
売上債権の増減額(△は増加)	△333,286	△60,230
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,579	△48,542
負ののれん発生益	-	△2,343
未払金の増減額(△は減少)	△31,665	△164,979
未払費用の増減額(△は減少)	39,290	46,329
前受金の増減額(△は減少)	△101,694	35,706
その他の資産・負債の増減額	10,694	△128
小計	944,487	310,825
利息及び配当金の受取額	267	292
利息の支払額	△2,240	△1,805
法人税等の支払額	△277,969	△768,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	664,545	△459,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,081	△4,870
貸付金の回収による収入	330	330
事業譲渡による収入	6,751	-
事業譲受による支出	-	△110,840
その他	30	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,029	△115,496

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△74,244	△74,244
新株予約権の行使による株式の発行による収入	844	2,049
配当金の支払額	△117,477	△236,825
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△50,000
リース債務の返済による支出	△13,895	△9,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,773	△368,778
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	461,802	△943,662
現金及び現金同等物の期首残高	4,189,529	6,071,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,651,332	5,127,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IT	語学	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
コンテンツマーケティング	1,739,249	—	—	1,739,249	—	1,739,249
メディア	332,976	—	—	332,976	—	332,976
AI	1,049,311	—	—	1,049,311	—	1,049,311
語学	—	396,642	—	396,642	—	396,642
その他	—	—	—	—	133,779	133,779
顧客との契約から生じる収益	3,121,537	396,642	—	3,518,179	133,779	3,651,959
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	638,327	349,675	—	988,002	133,179	1,121,182
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,483,209	46,967	—	2,530,176	600	2,530,776
顧客との契約から生じる収益	3,121,537	396,642	—	3,518,179	133,779	3,651,959
その他の収益	—	—	229,866	229,866	—	229,866
外部顧客への売上高	3,121,537	396,642	229,866	3,748,045	133,779	3,881,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,400	—	8,387	9,787	2,709	12,497
計	3,122,937	396,642	238,253	3,757,833	136,489	3,894,322
セグメント利益	1,411,710	37,985	149,378	1,599,074	18,857	1,617,931

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、採用事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,599,074
「その他」の区分の利益	18,857
全社費用(注)	△322,836
四半期連結損益計算書の営業利益	1,295,094

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IT	語学	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
コンテンツマーケティング	1,787,670	—	—	1,787,670	—	1,787,670
メディア	380,813	—	—	380,813	—	380,813
AI	592,403	—	—	592,403	—	592,403
語学	—	404,266	—	404,266	—	404,266
その他	—	—	—	—	235,680	235,680
顧客との契約から生じる収益	2,760,886	404,266	—	3,165,153	235,680	3,400,834
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	493,753	343,245	—	836,998	205,729	1,042,727
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,267,133	61,021	—	2,328,155	29,951	2,358,106
顧客との契約から生じる収益	2,760,886	404,266	—	3,165,153	235,680	3,400,834
その他の収益	—	—	231,492	231,492	—	231,492
外部顧客への売上高	2,760,886	404,266	231,492	3,396,646	235,680	3,632,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	—	11,044	12,244	14,173	26,417
計	2,762,086	404,266	242,536	3,408,890	249,854	3,658,744
セグメント利益	556,403	63,786	165,165	785,355	△15,957	769,397

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外介護人材事業、採用事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,355
「その他」の区分の利益	△15,957
全社費用(注)	△315,631
四半期連結損益計算書の営業利益	453,766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。